

KASAI データバンク H22.4.30 現在 (前月比)	人口 / 48,356 (-49)	世帯数 / 16,967 (-2)
	男 / 23,543 (-37)	女 / 24,813 (-12)
	4月の出生数 / 27人	死亡数 / 54人

## 加西菜の花まつり「菜の花TRAIN サイクリング」開催

宇仁郷まちづくり協議会の「宇仁の里花畑街道菜の花祭り(会場/小印南町公会堂)」と、かさい菜の花育てる会の「東横田菜の花フェスティバル(会場/播磨横田駅付近花畑)」を結んで4月18日に「加西菜の花まつり」として共同開催されました。大勢の家族連れが、菜の花あふれる田園風景の中、ハイキングや青空市などを楽しみました。

また、両会場を繋ぐ催しとして小印南町公会堂から出発し、玉丘史跡公園、播磨横田駅、網引駅慰霊碑前などを経て、約36km(途中7.9kmの北条鉄道乗車区間を含む)の区間を自転車であぐる「菜の花 TRAIN サイクリング」も同時開催。北条鉄道は、自転車を持ったまま電車に乗れる「サイクリング列車」を初めて試験的に運行しました。



◀写真左/春のぼかぼか陽気の中、菜の花を眺めながらのサイクリングを楽しむ参加者

◀写真右/北条鉄道の播磨横田駅で自転車を持ち込み乗車する参加者

## 北条鉄道女性職員。播州織でトータルコーディネート

今春、2名の女性職員を採用した北条鉄道では、播州織の生地を用いて女性用の制服を新調し、4月10日から着用を開始しました。女性職員は土曜・休日に乗務し、北条鉄道グッズ(記念きっぷ・ピンバッジ・北条鉄道のチョコQ等)の車内販売を行っています。

なお、北条鉄道は25周年を記念して様々な行事を企画。6月19日(土)にはシンガーソングライター石田裕之さんを迎え「心ふんわりエココンサート列車2010」、7月には恒例の「かぶと虫列車」、10月には一大イベント「北条鉄道まつり」の開催を予定しています。



▲播州織の制服を着る北条鉄道女性職員の黒川さん(左)と川田さん



▲ボリビアの民族舞踊を披露したボリビアアンニダの皆さん

## 上映記念イベント「フィエスタ ラテン・アメリカ」

加西市国際交流協会は、映画「パチャママの贈りもの」(上映4/29~5/16)上映記念として、アステアかさい3階地域交流センターで4月29日、オープニングイベント「フィエスタ ラテン・アメリカ」を開催しました。

南米の民族音楽の演奏や民族舞踊に観客が参加するなど盛り上がり、民族料理コーナーでは、ペルー料理「パチャマカ」やブラジル料理「パステル」などに行列ができました。

市民の皆様にはさまざまな国の文化に触れていただき、内外の外国人との国際コミュニケーションを深めていくために、これからも市と同協会は連携して多文化共生に取り組んでいきます。

## 北条小児童が作成した「五百羅漢絵はがき」完成

北条小学校6年生の児童が昨年の授業で作った版画をもとにした「五百羅漢の絵はがき」20種類が完成しました。

北条まちづくり協議会(松本正光会長)と北条小学校が、図工や地域学習の時間に連携して作成、「地域のよさを発見しよう」と今年で3年目となる取り組みです。一版多色版画による色鮮やかな絵はがきは、毎年ほぼ完売となる人気ぶりです。

デザインの異なる5枚1セット400円で、五百羅漢(北条町北条☎0580)と加西市観光案内所(北条鉄道駅☎8823)で販売中です。



▲完成した絵はがきを喜ぶ児童たち



▲「播州加西あはれ太鼓」の力強い演奏

## 結成20周年。播州加西あはれ太鼓

市内在住者などで行く和太鼓グループ「播州加西あはれ太鼓(中谷勉会長)」が今年で結成20周年を迎え、市民会館文化ホールで4月25日、記念演奏会が行われました。

同グループは、平成2年5月に結成、毎週日・水曜日に練習に励み、地域のイベントに招かれ演奏を披露、最近では「北条節句まつり」などにも出演しています。

結成20周年記念演奏会では、多彩なゲスト出演も交え、力強い太鼓の響きが満員の観客を大いに楽しませました。

## 小学生がトマトの収穫を体験

九会、富合、宇仁の3小学校の3年生が、それぞれの校区内にあるトマト農家(九会/岡田毅さん・森川勝司さん、富合/本玉茂樹さん、宇仁/桜井健一さん)を訪れ、ビニールハウス内のトマトを観察したり、収穫したりしました。

トマト出荷組合(岡田毅会長)がトマトの栽培方法や農業の魅力を知ってもらおうと4年前から実施、今年から富合と宇仁小学校でも行われました。

収穫したトマトは、5月の給食に出される予定です。



▲4/19 桜井さん(青野町)のハウスを見学する宇仁小児童

## 平成22年春の叙勲

加西市からは次の2名が受賞されました。



瑞宝小綬章  
(元公立高校長)

辻 昇三さん(73)  
両月町



瑞宝双光章  
(元高砂市民病院中央検査科長)

東郷久弘さん(73)  
戸田井町

教員生活38年、北条高校教諭や氷上西高校校長等を歴任されました。最初の赴任地の伊丹高校ではラグビー部顧問として、初の全国大会出場に導くなど、生徒たちの体育教育に尽力。「学園ドラマの先生のような感動を沢山もらいました。教え子たちに感謝したいです」と笑顔で話されました。

高砂市民病院に検査技師として42年間勤務、地域医療の現場を支え、学術面でも日本臨床衛生検査学会で尿沈検査方法の全国標準化に努める等、臨床検査技術の発展に尽力されました。「縁の下の力持ちですが、患者さんのためになることで充実感を得ることが出来ました」と仕事のやりがいを語られました。